

2023年6月26日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
PT Adira Dinamika Multi Finance Tbk

PT Mandala Multifinance Tbkの買収について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）およびインドネシアのPT Adira Dinamika Multi Finance Tbk（President Director I Dewa Made Susila、以下 ADMF）は、PT Mandala Multifinance Tbk（以下 MFIN）の株式80.6%を取得（以下 本取得）することについて、現株主であるPT Jayamandiri Gemasejati およびその関連株主と株式売買契約を締結いたしました。本取得にかかる金額は総額70,421億インドネシアルピア（約660億円）を見込んでおり、関係当局の承認などを前提に2024年初め頃を目途に本取得を完了する予定です。本取得により、当行がMFIN株式の70.6%を保有する筆頭株主となり、ADMFが10%を保有することになります。なお、インドネシアの規制に基づき、本取得の完了後、当行は残る19.4%のMFIN株式について強制的公開買付け¹⁾を実施する予定です。

アジアを第2のマザーマーケットとするMUFGにとって、東南アジア最大のGDPを有し、将来にわたり高成長が期待されるインドネシアは特に重要な市場です。当行は同国で、外国銀行最大級の規模を有するジャカルタ支店に加え、2019年4月にはダナモン銀行を連結子会社化することで、商業銀行の事業基盤を確立してまいりました。また、安定した成長が見込まれる同国のオートローン市場においても、ダナモン銀行の子会社であるADMFを通じて、高いプレゼンスを確立しております。

MFINはインドネシアにおいて主に二輪の新車向けオートローンと二輪車を担保とする多目的ローンを展開し、特に東インドネシアにおいて高いプレゼンスを有する企業です。当行およびADMFは、本取得により、MFINの地域面や商品面での強みを活かし、より広範なインドネシアのオートローン事業の強化・拡大を目指します。

MUFG および当行は、東南アジアにおいて出資している各パートナーバンクと一体で、同地域のビジネスプラットフォームを構築し、事業を強化しております。今後も東南アジアの成長に、より一層貢献してまいります。

《ADMFの概要》

ADMFは、1990年に設立されたオートローン事業を営むインドネシアの上場企業です。2004年にダナモン銀行に買収され、2019年に当行によるダナモン銀行の連結子会社化に伴い、MUFGグループの一員となりました。インドネシア全土で事業を展開しており、二輪・四輪の新車・中古車向けオートローンや耐久消費財を含む多目的ローンを提供しています。

《MFIN の概要》

MFIN は 1997 年に現在の事業を開始し、主にインドネシアの Underbanked・Unbanked 層^[2]に対して、二輪の新車、多目的ローン、消費財ローンなどの金融ソリューションを提供する、インドネシアの大手オートローン企業です。設立以来 900 万を超える顧客にサービスを提供しており、すべてのステークホルダーに対して金融包摂を提唱しています。

[1] 残存株主に対し、MFIN 株式を保有し続けるか現金を対価として譲渡するかを選択する機会を提供する予定。

[2] 銀行のサービスを受けられない方々

以 上